



## 社会人として働くゴールドenルールは、 「挨拶」「時間を守る」「約束を守る」の三つ

社会人として仕事をするときの基本の「ゴールドenルール」とは何でしょうか。  
私は、

「挨拶をする」

「時間を守る（遅刻しない）」

「約束を守る」

の三つだと思います。

「何だ、当たり前じゃないか」と思われる人もいるかも知れません。

じつは「優秀だ」といわれる人は、この三つがきちんとできており、その上で仕事の

成果を出している人なのです。逆にいえば、この三つができない人は仕事が任せられない、ゆえに評価される機会が少なくなる、だから成果も上がらないのです。

一つ一つ説明をしていきましょう。まず、挨拶です。朝、元氣よく「おはようございます」というと、気持ちのいいスタートが切れます。上司や仲間に対して、「お疲れさまです」「お先に失礼します」「ありがとうございます」というのは、社会人の基本です。これらの言葉は、自然に口から出るように身につけてほしいもの。それも相手に伝わるように、大きな声でいきましょう。

### 「自分から先に挨拶すること」を心がけよう

最近の若者のなかには、「相手が挨拶をしてきたら返すが、自分から先には挨拶しない」という人もいます。理由は、学校では「先生が先に挨拶をしてから、学生が挨拶を返すというのが普通だから」とのこと。

そのため、挨拶は自分から先にするものではない、と思っていたといいます。少子化により、学生数が少なくなっているため、学校側が学生を「お客さま扱い」してそのようなことが起きているのだとか。もし、あなたが入社して数年以内の若手社員であれば